

樹脂成形品のバリ取りを人手から自動にしたい。

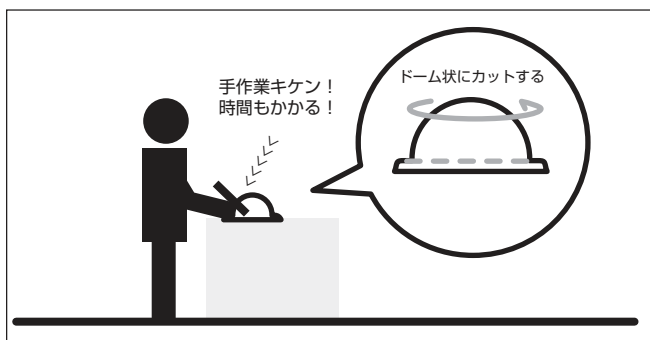
BEFORE

課題と改善点

洗濯機で使う樹脂のネットを作っているが、形がきれいな円形でないため、バリ取り（樹脂のはみ出し部分の切り取り）は手作業で行ってきた。

カッターで一つつを切り取る作業は、ケガなどの危険性もあるが、何より均一にならず、ロスが出てしまうことが大きな課題。

生産性を上げるためにも、比較的低コストでバリ取りができる機械があったらいいのだが・・・



現状作業の略図

AFTER

改善のポイント

危険性とロスを無くすために、**半自動型のバリ取り機器**を提案。機器の構想図を無料にて作成。ワークが半円のため**回転させてカット**する機器構成を具体化した。

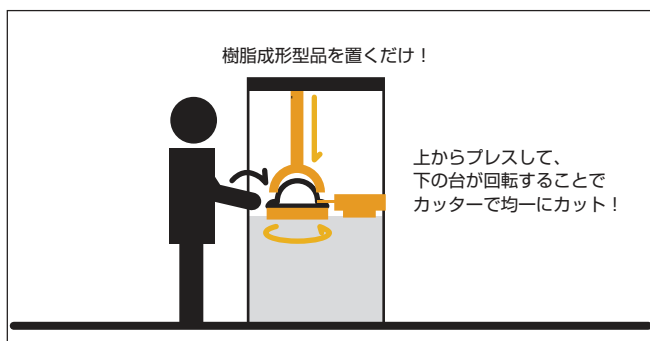
スタッフは、機器へ製品をセットし、終わると取り外しを行うのみ。セットされた製品の上からプレス機が降り、下の回転台が回り始めると、サイドから出たカッターがバリ取りを行う仕組み。カッターは、スタッフが挿入する側とは反対に位置しており、1回転が終わるとともに自動停止する構造とし、安全性も考慮した。

また、納品後の刃の取り替えなどは、お客様で簡単にしていただけるように種々のカット用刃を検討し、選定。テスト運用を経て、市販品メーカーのカッター刃を採用。結果として、市販品で安価のため運用コストを押さえることができた。バリ取り時にゴミが発生しないことも、**手入れが楽！**でエコな商品だと言える。

導入後は、生産性を数倍にアップ！

品質向上と安定生産もあわせて実現することができた。

実際の設置後イメージ



改善後作業の略図